



令和 4 年度

運営に関する計画

中間評価

大阪市立住吉中学校

令和 4 年 11 月

(様式 1)

大阪市立 住吉中学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

十数年前には、本校でも、学校の荒廃が進み、生徒の問題行動が数多く見られた。

現在は、教職員の指導力とチームワークで、落ち着いた雰囲気と静かな環境で、日々の学校生活を送れるようになった。また、PTAや地域の皆様からも、正常化に向けて協力を惜しまず支援していただいた結果として現状がある。

学力面では、大阪市や大阪府の平均より高く、全国レベルの学力で推移している。令和 3 年度の全国学力学習調査では全国平均を僅かに下回る結果になったことや、高得点層と、低得点層の増加、無回答率の割合が全国平均や大阪市平均を上回ったことなどから、学力の 2 極化が広がりつつある現状が見えてきた。また、複雑な家庭環境を背負う生徒、SNS による表面的な仲間関係、不登校生徒の増加、長年にわたって本校の教育活動を推進してきた教員の異動など、不安定な要素を持ちつつ、いつ十数年前の状況に戻ってもおかしくないといった緊迫した状況であることに変わりはない。そこで、「住吉中学校を荒らしてはならない」という強い信念をしっかりと持ち、本校の教育を良い方向に導き、生徒・教職員が「安全で安心な」教育環境を守り、校訓である「自主・協調」のもと、生徒が生き生きとし自ら考え方行動できる住吉中学校を創る。

- 1 学校教育目標「確かな学力と豊かな人権感覚の醸成と育成」を目標として、「自分を大切にし、周りの人たちとともに夢をきり拓く子どもたち」という子ども像実現のため、「人にやさしい生徒、人にやさしい住吉中学生」を育てる。そのため、基本的人権の尊重を基盤に、教科指導・生活指導・部活動の 3 つの調和を保ち、落ち着いた状況で、活動・学習ができるよう環境づくりをすすめる。
- 2 大阪市で部活動に関わって尊い命が失われたことは事実である。このことを真摯に受け止め、本校から体罰・暴言のない、活気ある学校をつくりあげる。この事件を教訓にして、スポーツ・文化活動そして、学習にも全力で取り組む生徒を育てる。
- 3 学力向上に向け、習熟度別授業・TT などの取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、ICT 機器を積極的に導入するなど魅力ある授業づくりを推進する。また、学力向上に向け、研究授業・公開授業を積極的に行う。
- 4 「チーム住吉」として教育活動を展開する。日常の教育活動における課題解決に向け、教職員集団としての協力を大切にした活動を行う。生徒指導において「寄り添いながら厳しく（まず寄り添うことを一番に）」を徹底し、「あいさつ・掃除・部活動」をキーワードに、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
- 5 「行事を通して生徒を育てる」を目標に、「生徒が主役」の学校づくりに取り組み、文化的行事・体育的行事が、一貫した流れの中で、系統的・継続的になるよう、学校行事を行う。

中期目標

令和4年度に策定された大阪市教育基本計画に準ずる項目について、令和7年度末における本市の数値目標を上回る。

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の生徒アンケート「学校生活は楽しい」、保護者アンケート「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を90%とする。
- 令和7年度末までの校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%とする。
- 令和7年度末までの校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 令和7年度末までの校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度に実施される全国学力・学習状況調査、中学生チャレンジテストにおいて、それぞれ全国・大阪府・大阪市の平均正答率を上回る。
- 令和7年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の校内調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を令和3年度(男子42.49、女子49.19)より2ポイント以上向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTを活用した授業を各教科、週3日以上実施する。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を85%以上にする。
- 働き方改革による教職員のゆとりの日を月1.5回以上設定・実施する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・校内調査における、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」という項目について最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において不登校の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ① 令和4年度の生徒アンケートにおける「学校生活は楽しい」、保護者アンケートにおける「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を前年度(生徒83% 保護者83%)より増加させる。
- ② 令和4年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(72%)より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和4年度の校内調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して最も肯定的に回答する生徒の割合を前年度(41%)以上にする。
- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を同一母集団において、いずれの学年も1.00ポイント以上向上させる
- ・各学年において、CEFRA1以上の生徒の割合を73%以上にする。
- ・令和4年度の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- ① 令和4年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(81%)より増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ＩＣＴを活用した授業を週3日以上実施する。
- ・令和4年度の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を75%以上にする。
- ・働き方改革による教職員のゆとりの日を週1回以上実施する。

学校園の年度目標

- ① スクールサポートスタッフや部活動指導員を4名以上配置し、教員の負担軽減に努める。

(様式 2)

大阪市立住吉中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <p>① 令和4年度の生徒アンケートにおける「学校生活は楽しい」、保護者アンケートにおける「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を前年度(生徒86% 保護者86%)より増加させる。</p> <p>② 令和4年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(72%)より増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境実現】</p> <p>全校集会や学年集会の場で、学校のきまりや規則についての話をしたり、毎月学校生活アンケートを取ったりして意識付けをする。また、各生徒専門委員会からの主体的な取組を組織する。</p> <p>指標 生徒アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境実現】</p> <p>自立的な生活習慣や健康と美化に対する意識を高める。</p> <p>指標 生徒アンケート「清掃活動や学校生活全般で、校内美化に努めている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。</p>	A
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>指標 個別の教育支援計画を作成し、年2回以上の検討会を実施する。また、障がいを理解する教育や男女共生教育を各学年1回以上実施する。</p>	A
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自己肯定感を育む系統的なキャリア教育や進路指導を充実させる。</p>	A

<p>指標 生徒アンケート「自分の将来や進路や生き方について考える機会がある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 人権教育年間指導計画に基づき教育実践を行い、人権感覚豊かな生徒(集団)の育成に努める。</p>	A
<p>指標 生徒アンケート「まわりの仲間を大切に思って行動している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 多文化共生教育を推進する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 取り組み内容①7月の学校アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒が 90%以上で、指標を上回っている。それぞれの集会や生徒専門委員会の働きかけが、規範意識の定着に繋がってきていると考えられる。
- 取り組み内容②清掃活動にまじめに取り組む生徒が多い。生活委員は毎週水曜日食堂ホールの清掃、金曜日には清掃点検を実施し、破損場所などにも早く気付けるように努めている。今後も継続していく様に、呼びかけや清掃点検を丁寧に実施していきたい。
- 取り組み内容③個別の支援計画の検討会を1回実施した。また、1・2年生は共生学習や福祉学習を行った。
- 取り組み内容④各学年進路学習を、計画実施できている。現状では、「自分の将来や進路や生き方について考える機会がある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合が85%以上である。
- 取り組み内容⑤生徒アンケート(7月)では「まわりの仲間を大切に思って行動している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合は99%であった。コロナ禍の影響もあり予定を変更して行ったものもあるが、年間指導計画に基づいて教育実践を行っている。
- 取り組み内容⑥平和教育については、各学年1学期に取り組みを行い、夏休みの登校日に学習成果を発表することができた。また、文化祭にて国際クラブ(テヤンの会)の発表があり、本年度は国際クラブ設立 30 周年もあり、成り立ちや意義を紹介できた。多文化共生教育については各学年後期に取り組みを予定している。

今後への改善点

- 取り組み内容①継続的に集会では注意喚起、生徒専門委員会では学校がより良くなるための働きかけを行うことが大切である。
- 取り組み内容②今後も、清掃活動への声掛けや清掃点検を丁寧に行い、破損場所への対応を早くしていく必要がある。
- 取り組み内容③全学年で性教育の実施や、個別の支援計画の検討会も実施予定である。
- 取り組み内容④今後の進路や将来について考える授業を各学年計画実施してきた。
- 取り組み内容⑤引き続き、年間指導計画に基づき、教育実践に取り組み、人権感覚が豊かな

生徒の育成に努めていきたい。

取り組み内容⑥後期に多文化共生教育について取り組む。また、毎週の国際クラブの活動を周知し、外国籍の生徒・外国にルーツをもつ生徒が母国やルーツを持つ国について学ぶ機会や場所を提供していく。

(様式2)

大阪市立住吉中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を41%以上にする。 ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1.00ポイント向上させる。 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を73%以上にする。 ・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を50%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <p>① 令和4年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当たる(やや当たる)」と答える生徒の割合を前年度(81%)より増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 少人数別授業・習熟度別授業・TTなどにより基礎基本の定着に取り組む。 授業研究や相互授業参観などを実施し、指導力向上に努める。</p> <p style="text-align: right;">(教務部)</p>	A
<p>指標 生徒アンケート「授業はよく理解できる」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上とする</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 國際社会において生き抜く力の育成】 豊かなコミュニケーション能力を身に付けるために、英語教育の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">(教務部・英語科)</p>	B
<p>指標 各学年において、英語検定5~3級程度の生徒の割合を前年度以上とする。特に、3年生の割合は50%以上とする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 大阪府内にある人権・歴史・平和・文化などをテーマとした施設を訪問し、郷土大阪を学び、深める取り組みを行う。</p> <p style="text-align: right;">(地域連携係)</p>	B
<p>指標 1年生で人権施設、2年生で歴史・平和・文化施設のフィールドワークを年1回以上実施し、3年生の修学旅行では平和学習を含む人権学習に取り組む。</p>	

<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動に対する苦手意識を克服し、積極的に体力づくりに取り組む生徒をめざし、保健体育科の授業の工夫と部活動への積極的な参加を促す。</p> <p style="text-align: right;">(生活指導部・保健体育科)</p>	B
<p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣調査における運動能力の種目について、6種目以上で令和3年度の全国平均を上回る。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 食に関する指導に取り組み、心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養や食事のとり方を学び、自ら管理していく能力を高める。</p> <p style="text-align: right;">(健康教育部)</p>	A
<p>指標 生徒アンケート「朝食を食べている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取り組み内容①現状のアンケートでは、80 パーセント以上は維持できている。今後も現状維持、成長できるように努めていきたい。</p>
<p>取り組み内容②各学年、ICT 機器を利用して文法導入・音読練習・教科書の内容理解を行い、有効に活用した。3 年生では毎時間小テストを行い、単語・文法力の定着を行った。また1、2年でも小テストを行い、基礎学力の定着を図っている。</p>
<p>取り組み内容③1年生は、地域の人権施設に訪問し学習することができた。2年生は、3学期に大阪府内にある人権・歴史・平和・文化などをテーマとした施設を訪問する予定である。3 年生は、修学旅行の平和学習を通して、今まで学んできた平和学習の理解をさらに深めることができた。</p>
<p>取り組み内容④全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果を待っている。</p>
<p>取り組み内容⑤栄養教諭による食育の授業を各クラス実施し、望ましい栄養や食事のとり方について考える機会を持つことができた。</p>
<p>取り組み内容⑥夏休みの学力補充や、元気アップ事業を活用して、テスト前学習を実施している。現状トータルで 10 時間以上は実施できている。</p>

今後への改善点
<p>取り組み内容①今後受験にむけて、習熟度別授業など充実させていきたい。</p>
<p>取り組み内容②ライティング、リスニング、リーディングに加えて、スピーキング力の基礎力をつける工夫に努める。また、個々が自分の意見を英語で述べることができるよう取り組みを進める。</p>
<p>取り組み内容③引き続き、指標に基づいて、大阪府内にある人権・歴史・平和・文化などをテーマとした施設を訪問する取り組みを行いたい。</p>
<p>取り組み内容④引き続き日々の保健体育の授業や部活動において体力の保持増進に努め</p>

る。

取り組み内容⑤来年度以降も栄養教諭による食育の授業を実施し、食の大切さを学ばせたい。今後は、保健委員を中心に食事をとる大切さを学ぶ機会をつくる。学んだことを全校生徒に啓発を行い、朝食を食べる生徒を増やしていく。

取り組み内容⑥今後も学力補充を中心に実施していく、基礎学力の定着に励みたい。

(様式2)

大阪市立住吉中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <p>【ICTの活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において学習用端末を毎日使用することを、100%とする。 <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 85%以上にする。 働き方改革による教職員のゆとりの日を週 1 回以上設定・実施する。 <p>学校の年度目標</p> <p>【ICTの活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業を各教科、週3日以上実施する。 <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇を8日以上取得する教職員の割合を 85%以上にする。 働き方改革による教職員のゆとりの日を月1回以上設定・実施する。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、生徒の心の状態や日々の生活の状況を可視化、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応ができるよう取り組む。</p>	A (教務部)
指標 授業日において学習用端末を毎日使用する項目を 50%以上達成する。	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)】</p> <p>ICT機器を活用し、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用することで子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びに取り組む。</p>	B (教務部・技術科)
指標 ICTを活用した授業を各教科 50%以上実施する。	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>授業研究や相互授業参観などを実施し、指導力向上に努める。</p>	B (教務部)
指標 教員全員の年1回以上の公開授業と年6回の校内研究授業・協議を行う。	
<p>取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、「仕事と生活の両立支援プラン」等も踏まえ教員が働きやすい環境を整えるように努める。</p>	B (主任会)

指標 年次有給休暇を8日以上取得する教職員の割合を 80%以上にすると共に、働き方改革による教職員のゆとりの日を月1回以上設定・実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取り組み内容①2 学期以降スクールライフノートの運用を開始し、各生徒の状況を把握できている。
取り組み内容②各教科実施活用が進んでいるが、現状50パーセントには至っていない。
取り組み内容③現状まだ、研究授業の実施回数が未達成である。
取り組み内容④月1回 職員会議の日にゆとりの日を設定しているため、17時を過ぎることがあった。

今後への改善点

取り組み内容①より充実した内容にすることで、生徒自ら活用したいと思えるように内容も充実していく。
取り組み内容②デジタルドリルの活用を充実させていきたい。
取り組み内容③2学期後半、3学期に目標達成予定である。今後も充実した授業つくりを進めていきたい。
取り組み内容④職員会議の日に「ゆとりの日」を設定しているが、会議が17時に終わらないことがあるため、来年度からは職員会議以外の日程で「ゆとりの日」を実施するなど工夫する。